

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 2 月 18 日作成

研究課題名	免疫複合体抗原の網羅的解析による精神・神経疾患の疾患特異的な免疫反応点の探索
研究の対象	ギランバレー症候群、先天性筋ジストロフィー、多発筋炎、皮膚筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、自己免疫性脳炎、ウイルス性髄膜炎、アルツハイマー型認知症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、パーキンソン病、パーキンソニズム疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症）、多系統萎縮症（シャイ・ドレーガー症候群、オリブ橋小脳変性症、線条体黒質変性症）、神経精神ループス、神経ベーチェット病、神経スイート病、多発性硬化症、視神経脊髄炎、橋本脳症、筋萎縮性側索硬化症、正常圧水頭症の患者さんで、2000 年 1 月 1 日から、2019 年 5 月 30 日の間に、上記の治療（検査）を受けた方
研究目的・方法	重症筋無力症、パーキンソン病やアルツハイマー型認知症などの神経・脳疾患では、脳での免疫的な異常が病気の原因として注目されています。しかし、どのような免疫異常が脳でおき、疾患ごとにどう異なるかわかっていません。こうした点がわかれば、有効な治療法の開発につながります。この研究では、血液と脳脊髄液を使って脳以外と脳内でどんな免疫反応がおきているかを調べます。具体的には各試料中の免疫複合体を解析し、各疾患それぞれで特異的に検出される抗原タンパク質を脳脊髄液と血清から特定します。
研究期間	西暦 2020 年 3 月 31 日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	血清、脳脊髄液、性別、生年月日、疾患名、合併症、前治療、喫煙の有無、パーキンソン病については睡眠障害や非運動症状、HLA タイプ、投与薬剤（治療開始 3・6・12 カ月後）、治療効果（治療開始 3・6・12 カ月後）、白血球数、CRP
外部への試料・情報の提供	代表施設へのデータの提供は、個人が特定できないようにデータを加工した上で提供します。患者さんの個人情報には本研究の個人情報管理者が厳重に保管・管理します。
研究組織	長崎大学生命医科学域実践薬学分野（代表施設） 大山 要 長崎北病院神経内科 佐藤 聡 熊本大学医学部附属病院神経精神医学講座 竹林 実 国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター臨床研究部 大盛 航 横浜市立大学附属病院 脳神経内科 竹内英之

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 脳神経内科 （研究責任者）竹内英之

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-788-6041

（代表施設）長崎大学生命医科学域実践薬学分野 大山 要